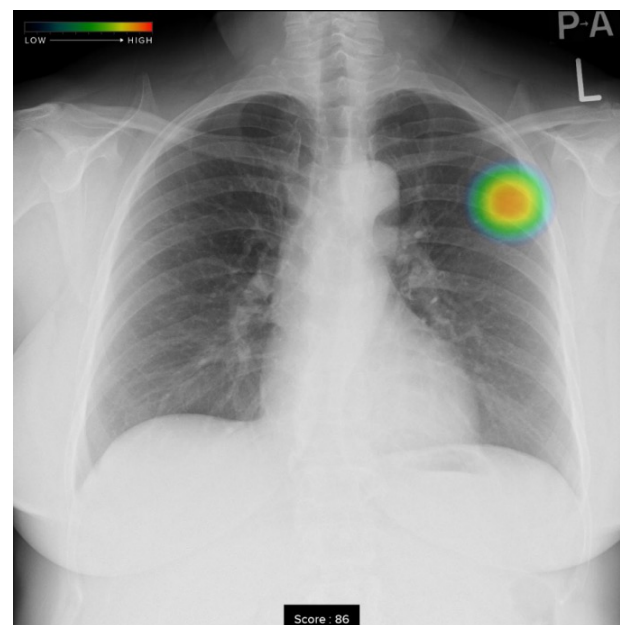
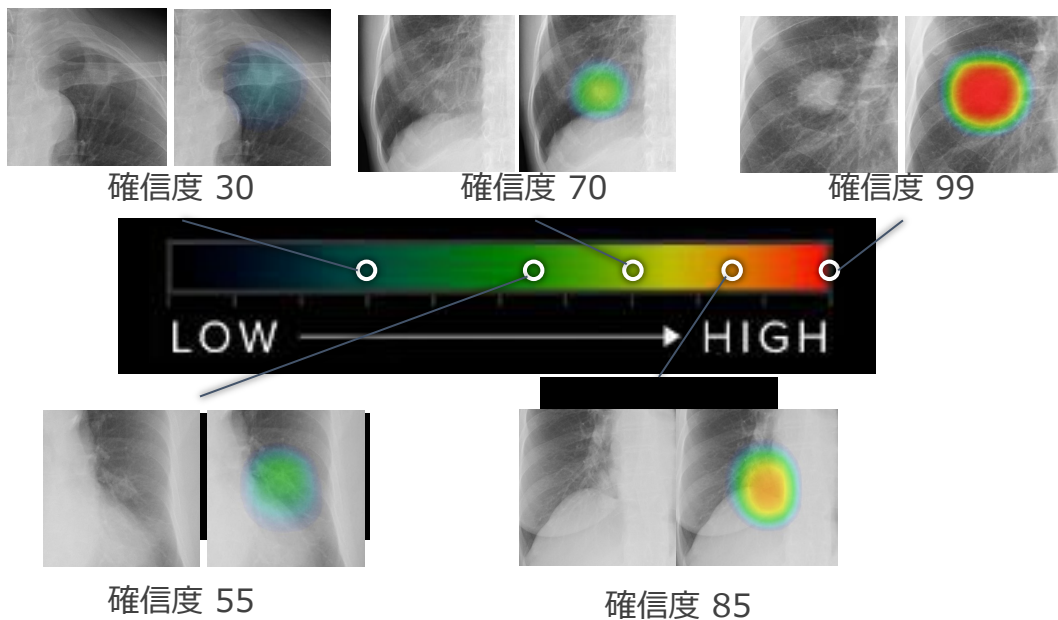


POINT 主要な異常所見の場所と確信度をHeat Map表示します。

AI技術を活用して開発したソフトウェアが異常領域の可能性を解析します。
解析結果の確信度(0-100)に応じて、異常所見領域に重なるようにカラー表示されます。

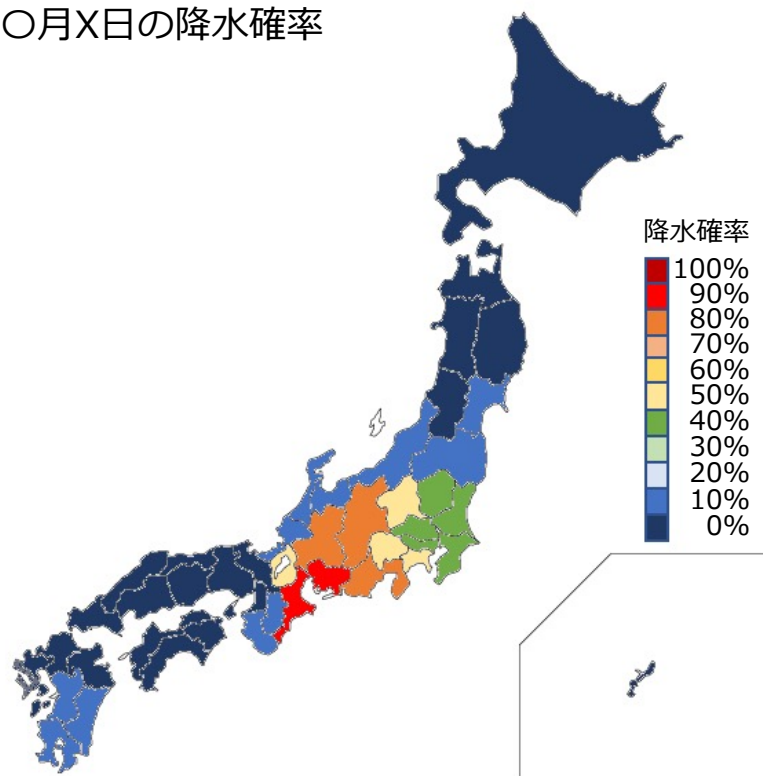
- 確信度が高いと赤色に表示されます。低いと青色に表示されます。(Heat Map表示)
- 画像内の確信度の最大値は「スコア」として、画像上に数値表示されます。



最大確信度

POINT 確信度は天気予報の降水確率のように、異常領域の存在可能性を表しています。

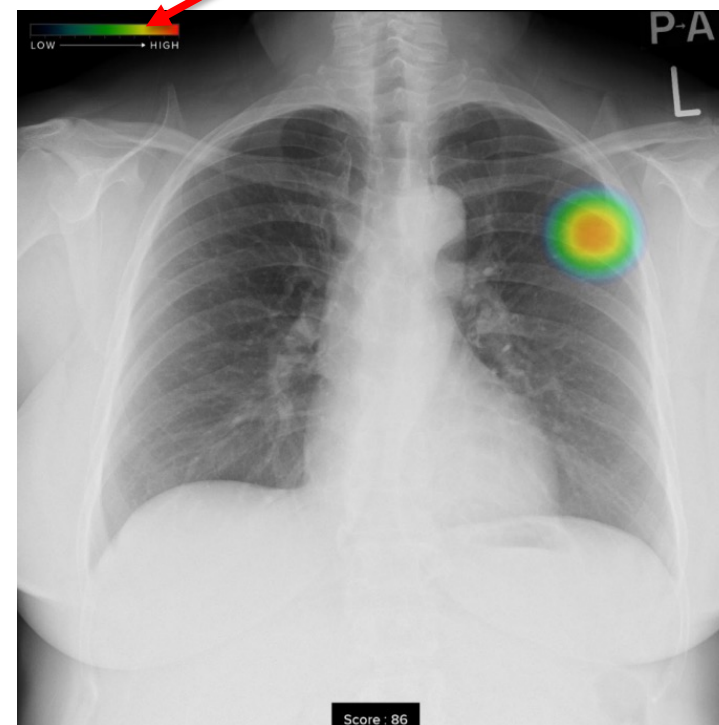
〇月X日の降水確率



【降水確率】

様々な気象条件を元にして、雨が降る確からしさを表す指標

Heat Mapインジケータ

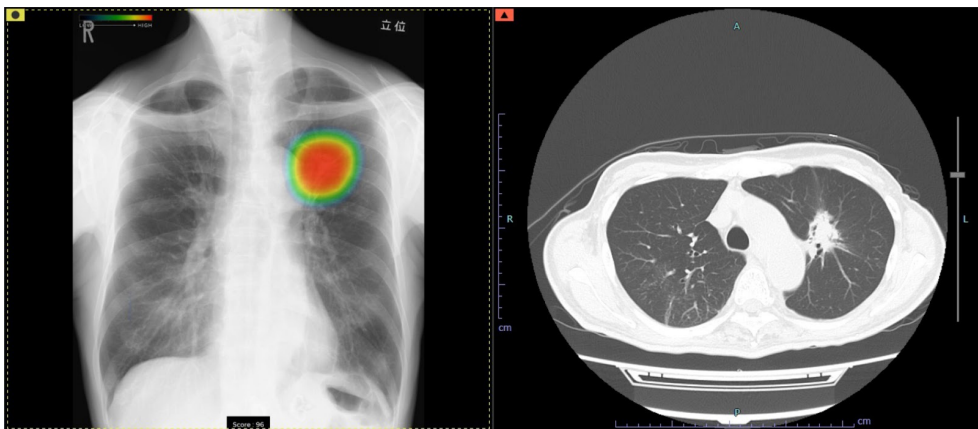


【確信度】

学習させた症例パターンを元にして、結節影/浸潤影/気胸の陰影パターンである確からしさを表す指標

POINT 主要な異常所見である結節/腫瘤影、浸潤影、気胸の検出をサポート

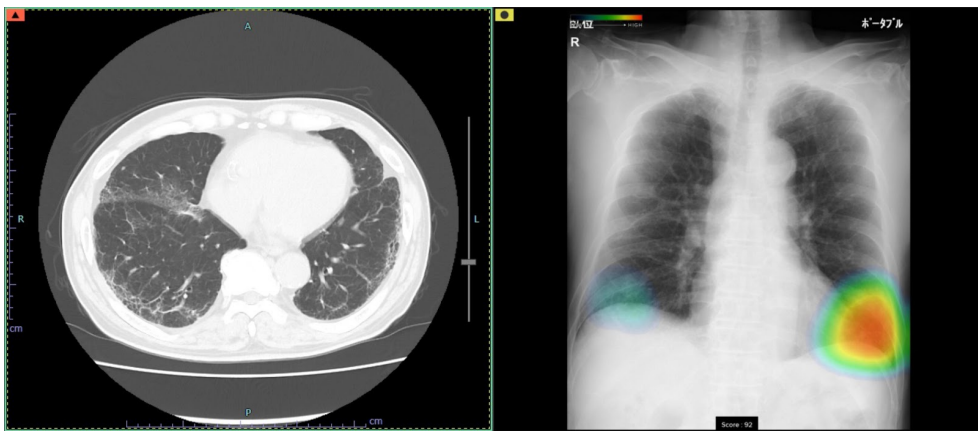
結節/腫瘤影



気胸



浸潤影



※本プログラム位置づけは「医師の読影の補助」であり、本プログラムによる検出結果のみでスクリーニングや確定診断を行なうことは目的としていません。

POINT ワンクリックで表示している胸部正面画像を解析します。

- CALNEO Smart/Flowで撮影された胸部正面画像を解析することが可能です。
- C@RNACORE内に保存されている過去のCR画像や他院からの紹介画像にも処理を実行できます。



富士画像診断ワークステーション
C@RNACORE
認証番号 22200BZX00909000